

# コミュニティデザイン: 人と人がつながる仕組みをつくる

山崎亮(やまざきりょう)

studio-L 代表

地域包括ケアシステムの構築が推進され、作業療法士が地域に対してどのように貢献できるのかが問われている。現在、作業療法士の約7割は医療関連機関で働いており地域住民やまちづくりに関わる機会は限られているが、地域包括ケアシステムの構築においてケアとまちづくりは切り離せないものとなっている。想いや考えがあっても医療現場と地域との「違い」に戸惑い、どのように行動や連携を図っていけばよいかを模索して手をこまねいている作業療法士も多いのではないだろうか。

山崎亮氏は、地域において人と人がつながる仕組み作りを支援するコミュニティデザインの第一人者である。今後、住民の一員であり作業療法士である私たちが、地域包括ケアシステムにおけるまちづくりに寄与するためには、コミュニティデザインという考え、実践は重要であると考えている。国や地域ごとの文化や特性に合わせたつながりの形やつながりを持続可能なものにするための仕組みについて実例を通して講演をしていただく。